

表2 医師のアンケート調査結果

No.	設問内容	回答	1回目 (n=51)	2回目 (n=55)
1	1日の平均在院時間	・8時間未満	0%	0%
		・8時間台	10%	5%
		・9時間台	30%	18%
		・10時間台	31%	33%
		・11時間以上	29%	44%
2	学会発表資料作成や自己啓発時間等除く、医師としての業務時間	・6時間	4%	2%
		・7時間	16%	11%
		・8時間	27%	13%
		・9時間	24%	35%
		・10時間以上	27%	40%
		・無回答	2%	
3	自己啓発時間等を除く、診療にかかる業務を適切に行う為の勤務時間	・6時間	6%	2%
		・7時間	16%	16%
		・8時間	29%	31%
		・9時間	27%	29%
		・10時間以上	22%	22%
4	前回のアンケート時と比較した在院時間や勤務時間の変化	・在院時間・勤務時間とも減少		5%
		・在院時間は減少		2%
		・勤務時間は減少		0%
		・考え方は変化		5%
		・在院時間・勤務時間は増加		9%
		・変化なし		64%
		・無回答		15%
5	各診療科における目標設定に対して	・行動目標が明確になり良い	29%	40%
		・目標達成することで評価されるので良い	15%	16%
		・目標設定経緯が見えない	15%	14%
		・自分のやりたい医療と合わない	10%	8%
		・目標は病院全体だけで良い	7%	5%
		・その他	19%	14%
		・無回答	7%	3%
6	医師の人事評価制度に期待すること	・成果の見える化	22%	22%
		・目標の明確化による自部署の業績向上	18%	20%
		・病院が求める働き方が分かる	17%	26%
		・頑張った人、頑張らなかった人が明確になり公平性が確保されること	12%	15%
		・給与の業績連動	11%	11%
		・その他	14%	6%
		・無回答	6%	1%

No.	設問内容	回答	1回目 (n=51)	2回目 (n=55)
7	病院側から提供される資源（ハード・ソフト）で満足度を向上させるもの	・充実したスタッフ	22%	25%
		・報酬	22%	23%
		・最新の医療機器	16%	14%
		・研究・学会支援	12%	13%
		・休暇制度	12%	12%
		・適正な労働時間	6%	8%
		・院内保育等の福利厚生	3%	2%
		・役職	3%	1%
	・その他	4%	3%	
8	勤務実績の評価として望む項目	・医療技術	18%	12%
		・外来患者数	13%	18%
		・新入院患者数	12%	11%
		・保有資格	11%	6%
		・受持入院患者数	8%	12%
		・部下等への教育指導	8%	8%
		・他医療機関との連携	7%	10%
		・学会発表	5%	7%
		・論文等執筆活動	4%	7%
		・院内委員会への参加	3%	3%
		・院内諸会議への関与	3%	3%
		・病院経営への参加	2%	1%
	・その他	6%	4%	
9	医師の人事評価制度は、医師の働き方改革にも関係するか？	・多少とも関係する	32%	38%
		・どちらとも言えない	46%	49%
		・全く関係しない	18%	11%
		・無回答	4%	2%
10	質問9)にて「関係する」と回答した理由	・評価項目が示され、生産性向上に繋がる	41%	31%
		・目標が明確になり、効率性に繋がる	36%	38%
		・目標達成のため、業務改善が図れる	18%	19%
		・その他	5%	12%
11	質問9)にて「どちらとも言えない」「全く関係しない」と回答した理由	・評価項目に、労働時間の短縮を促進される項目がない	57%	51%
		・現在の医師の報酬制度に、時間外手当の概念を明確に取り入れられない限りは影響ない	19%	21%
		・目標を達成するために働く時間が増える	5%	10%
		・その他	19%	18%